

まちの話題 



深江 早くおおきくなってね！

クルマエビ種苗投入



▲クルマエビの赤ちゃん

6月12日(月)、深江町クルマエビ養殖場に、クルマエビの種苗110万尾を投入しました。これは、深江町漁業協同組合が行ったもので、小佐々町の(株)長崎県漁業公社から運ばれてきました。輸送車の中には、サイズが15ミリから24ミリ程度のかわいらしいクルマエビの赤ちゃんがわんさか！これから養殖場の中でスクスクと育ちます。

9月中旬には間引き出荷が開始され、10月下旬から2月末くらいまで美味しいクルマエビが楽しめそうです。



▲広大な養殖場 (30,500㎡)

市全体 ストレス社会に暮らすあなたは？

『こころの健康づくり』講演会

6月17日(土)深江公民館で『こころの健康づくり～ストレスとうまくつきあうには～』と題し、ストレスケアカウンセラー田口善弘氏による講演会が開催されました。

講演会では「現代に生きる私たちは受け止める力(受容力)が弱くなって、それがストレスにつながっているようです。受容力は幼いころから養うことが大切です。」という話がありました。

また、「現代人は人生の勝負をするカードを集めることばかりに心を奪われています。自分のもっているカードで人生を歩んでください。」というアドバイスもありました。

無理をせず、自分らしく生きることが何より大切なのかもしれませんね。



★ あなたのストレス度チェック法 ★

立ったまま目を閉じ、その場で足踏みを50回。最初の位置から角度が45度以上動いていれば注意信号！(ストレス解消をしましょう)



▲会場はたくさんの来場者

☆ かんたんなストレス解消法 ☆



▲手をあててゆっくり ▲息をはきながら力を入れて
※写真は講演会での1コマです

1. いすに腰掛けた人の肩に、手をやさしくあてる。
 2. 息を吐きながら、5秒間かけて、下のほうにゆっくり押す。
 3. 押したままの状態です5秒間。
 4. 最後にゆっくり『ふわり』と手を離す。
- 何回か繰り返すと、非常に効果があります。
※している人も、されている人も両方に効果があります！



▲力強く！慎重に！

市全体 みんな元気ハツラツです！

南島原市老人クラブ連合会 主催ゲートボール大会

6月8日(休)、西有家町のゲートボール場で、8町合併後初めての大会となる『南島原市老人クラブ連合会主催ゲートボール大会』が開催されました。

この日は小雨がぱらつく、あいにくの天候となりましたが、早朝にもかかわらず、各町からたくさんの選手が集まりました。大会は、加津佐町(1チーム)、南有馬町(2チーム)、北有馬町(3チーム)、西有家町(9チーム)、有家町(2チーム)、布津町(3チーム)の20チームで争われ、熱戦!?が繰り広げられました。

初の栄冠を手にしたのは南有馬町Aチームで、準優勝は見岳チーム(西有家町)、3位は龍石チーム(西有家町)、轟川チーム(北有馬町)でした。



▲若々しい選手が、大集合！

市全体 地域漁業発展のために

漁業士認定証授与式



▲左から2番目が渡部さん

市全体 南島原市文化財再考にむけて

南島原市文化財 専門委員会設立

7月1日(土)、原城オアシスセンターで『南島原市文化財専門委員会』が開催されました。これは文化財保護行政の一環として、南島原市教育委員会が実施する文化財の調査、整備、保存および活用に関する事業に対し、総合的かつ専門的な指導および助言を得ることを目的として設置されました。

第1回目の会合となった今回、服部英雄九州大学教授(委員長)や千田嘉博奈良大学教授(副委員長)ら10名に対し専門委員の委嘱状が交付されました。

委員会は日野江城の現状を視察、徹底した調査をもとに今後の復旧計画を検討していく予定です。



▲日野江城を現地視察

去る5月31日(水)、長崎県庁で漁業士認定証授与式が行われ、有家町石田の渡部達春さん(57歳)が漁業士に認定され、金子知事から認定証が手渡されました。

漁業士とは、沿岸漁業を担うべき青年漁業者の育成や沿岸漁業の中心的役割を果たすことが期待され、地域で活躍されている漁業者を「漁業士」として認定するものです。

県下では、平成18年5月30日現在で、指導漁業士73名、青年漁業士68名で合計141名が認定を受け県内各地で活躍しています。

今後渡部さんは、指導漁業士として交流会や講習会などを通じて、漁村青少年の育成指導などに尽力されます。